

ニュースリリース

BSデジタルテレビ放送関連特許を一括解決

アルダージとBSデジタル放送局がライセンス契約締結に合意

2015年9月1日

アルダージ株式会社

パテントプールライセンス管理会社のアルダージ株式会社は、本日までに、BSデジタルテレビジョン放送を行う下記の衛星基幹放送事業者（BS放送局）20社との間で、かねてより交渉中であったBSデジタル放送関連特許に関しライセンス契約を締結いたしました。

日本放送協会、株式会社BS日本、株式会社ビーエス朝日、株式会社BS-TBS、株式会社BSジャパン、株式会社ビーエスフジ、株式会社WOWOW、株式会社スター・チャンネル、日本BS放送株式会社、ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社、放送大学学園、一般財団法人グリーンチャンネル、株式会社アニマックスブロードキャスト・ジャパン、株式会社ビーエスFOX、株式会社スカパー・エンターテイメント、株式会社ジェイ・スポーツ、株式会社釣りビジョン、株式会社IMAGICA TV、日本映画衛星放送株式会社、ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社（チャンネル番号順）

2000年の12月に開始されました日本のBSデジタルテレビ放送は、一般社団法人電波産業会（ARIB）の参加メンバーによって議論され、策定されたいわゆるARIB標準規格に則って行われております。かかる規格は、放送事業者、機器メーカー等多くの関係者の技術、提案、意見を反映したもので、おのずとその技術に関わる特許権者も多岐にわたり、関係する特許の数も多数になります。

このような錯綜した特許問題は何らかの形で対応をしないと規格そのものの、ひいてはBSデジタルテレビ放送自体の普及にも影響してまいります。

アルダージは、デジタル放送に関連する特許を一か所に集め、一括してライセンスする、いわゆるパテントプール方式によって特許問題を解決し、デジタルテレビジョン放送システムの普及促進を目的として2006年7月に設立されました。

現在、アルダージでは18社が所有するおよそ590件の特許をプールしております。既に2007年より開始されております受信機を対象としたライセンスプログラムでは158社が契約に基づき製造、販売を行っており、アナログ放送からデジタル放送への完全移行に伴うデジタルテレビ普及の為の環境整備には大いに貢献してまいりました。

デジタルテレビジョン放送は、ARIB規格に準拠して信号を放送する放送局とその信号を受信するテレビ放送受信機の双方があって初めて実現されます。このことからアルダージでは放送局を対象としたデジタル放送に係るライセンスプログラムについてかねてより放送局関係者との交渉を進めてまいりました。このたび成立いたしましたBS放送局とのライセンス契約は、2013年3月に締結した地上デジタル放送 129局との地上デジタル

放送関連特許に関するライセンス契約に続き、放送局が技術の使用に対し直接に応分の負担をして開発者である特許権者に報いるという点では極めて画期的なことであり、その結果、放送局はアルダージにプールされたBSデジタルテレビ放送関連の特許を気にすることなく使用し安定した放送事業が展開できることとなります。アルダージは今後もこのような特許料の公平な分担について貢献している所存であります。

以上

アルダージ株式会社の概要

アルダージ株式会社は、デジタル時代の錯綜した特許問題を協調して解決し各社の競争をクリエイトしビジネスを活性化するツールを提供するために、2006年7月に設立されました。

複数の当事者が所有する必須特許を一括して許諾し（パテントプール）、特許権者と事業者双方の利便性を追求する事業を展開しております。

所在地 東京都千代田区内幸町 1-1-1 インペリアルタワー内

電話 03-3500-1572 FAX 03-3500-1573

ウェブサイト <http://www.uldage.com>

代表取締役社長 中村 嘉秀

資本金 6,000万円

株主	シャープ株式会社	14.29%
	ソニー株式会社	14.29%
	株式会社東芝	14.29%
	株式会社 JVC ケンウッド	14.29%
	パナソニック株式会社	14.29%
	日立マクセル株式会社	14.29%
	三菱電機株式会社	14.29%